

2がっ園だより

令和5年2月1日
南流山幼稚園

「失敗にめげてもいい、でも立ち直る」

とある日の幼稚園での一コマ。排泄で失敗した園児がしょんぼりテラスにすわっている。その横でにこにこ一緒にすわっている先生がいる。すると突然、その子は立ち上がり、みんなの遊びの中へ飛び込んでいく。凄い心の回復力だと思う。その子が凄いというより、その子の親御さんの子育てを思う。想像力をふくらまして、ちょっと考察。



(1) 子どもの存在自体を褒めているかも。

①あなたのことが大好き、②あなたはママの宝物だよ、③あなたと一緒にいられてうれしい。

(2) 子どもの言葉に共感しているかも。

①うん、わかるよその気持ち、②よくがまんできたね、つらかったね、③いいたいことがあったんだね、気がつかなくてごめん。

人間、生きていれば必ず「挫折」にぶつかります。小さな挫折は日々目の前に現れます。挫折の経験こそ、その人の心を豊かにします。「人は悲しみが深いほど、人には優しくできるのだから」という歌を思い出すと、悲しみもまた人生を豊かに思慮深くしてくれるものだと気付かされます。我が子の挫折に心配するだけではなく、我が子の伸びしろを感じられる親御さんであってほしいと思います。気をつけたいことは、子ども自身の優越感に気をとられることです。子どもが優越感で自分の心を安定させるようになると、人にはいばり、逆に自分より上だと感じる人には、卑屈になってしまうことが多いのです。

「見守る」「待つ」「寄り添う」「受け容れる」「耳を傾ける」など子育てのキーワードを知っていてもなかなかできない、その時々の実実があります。でも謙虚に子育てについて頑張っていれば必ず良き方向へ向かっていると信じて、日々を過ごされてはいかががでしょうか。

さてコロナウイルスの感染状況が広まっている中で、第2類から第5類への変更が次なる施策として報道されています。幼稚園生活の中では、例年通りの行事等の実践をしていこうと考えています。ながく続いた感染防止への取組は保持しつつ、勇気をもって堂々と3年前の日常に帰っていきたいと考えています。

最後に、先月の八木中学校生徒の職場体験学習の感想を紹介します。

園児に対して、ていねいに触れ合えば、園児も自分に対して、ていねいに接してもらえることを学びました。

YK 君

この感想に背筋の伸びる思いがして、先生方にも伝えました。

園長より

* 今月のリサイクル活動は 21 日（火）と 22 日（水）です。

2月の主な行事予定			
2・木	音楽発表会予行	16・木	個別面談
3・金	豆まき	17・金	個別面談
8・水	音楽発表会（年少組）	20・月	個別面談
9・木	音楽発表会（年中組）	21・火	個別面談
10・金	音楽発表会（年長組） 日本の誕生会	27・月	こどもの森遊び（6クラス）☂ 3 / 3
		28・火	こどもの森遊び（6クラス）☂ 3 / 3
13・月	表彰式		
15・水	避難訓練		

3月、4月の主な行事予定			
2・木	お別れ会	17・金	午前保育開始
3・金	ひなまつり会	23・木	第3学期終業式
9・木	修了式予行	4/10・月	令和5年度1学期始業式
15・水	修了式(年少・年中組は休園)	4/11・火	令和5年度入園式(在園児休園)

お知らせ

今月の13日に、一人一人の園児を表彰します。その賞の名前が素敵です。工作賞・演技賞・かけっこ賞・親切賞など様々です。それぞれ担任が園児への思いを表彰状にたくします。ご家庭でもたくさん褒めてあげてください。

